

令和7年度

事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年度事業報告

近年、原材料費やエネルギーコストの高騰等が大きな課題となっており、社会経済全体に大きな影響を及ぼしている一方で、人口減少、少子高齢化の進行や疾病構造の変化等、県民の健康を取り巻く環境は大きく変化しており、健康づくりに対するニーズも、より一層多様化している。

こうした中、第4次経営計画に基づき、収入の確保及び経費の削減に努めつつ、受診者の視点に立った健康診断・保健指導事業を実施するとともに、啓発事業においては、健康づくり実践活動の支援や疾病予防等の普及啓発等、効果的な情報を発信する等、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体と連携のもと、県民の生涯にわたる健康づくりを積極的に推進した。

I 健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご21県民運動」を推進するため、参画団体や健康づくり推進員等と協働し、健康づくりの基盤となる健康チェックの実践、生活習慣の見直し等の健康づくり運動を県内全域で展開した。

また、企業の従業員や家族及び幼稚園等の幼児や保護者への啓発事業を展開し、県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

II 疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を広く県民に紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報活動を実施した。

また、がん・生活習慣病講演会を開催したほか、DVDの貸出し、ポスター掲示及びデジタルサイネージ広告によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病予防の各分野における功労者の表彰やがん等の医療に携わる専門職が行う研究を奨励し、医療技術の向上の支援に努めた。

特に、令和7年度は、本県（神戸市内）において「がん征圧全国大会」を、日本対がん協会との共催で開催し、がん対策の更なる普及に努めた。

Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上やリスクマネジメントに努めつつ、県内全域で健診事業・保健指導事業を実施した。

また、県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。

なお、長年にわたり絶食療法等を通じて県民のこころと身体の健康づくりを支援してきた「五色県民健康村健康道場」においては、利用者の減少、施設の老朽化、道場長の後継者の不在等により、令和7年度末をもって事業を終了した。

Ⅳ 運営体制の充実を図るための取組

公益法人の運営にかかる透明性の向上及びガバナンスの充実の観点から、①財団のガバナンス確保、②不祥事・事故等の予防、発見、事後対応、③円滑な財団運営・人材育成に関する各種の取組を行った。

令和7年度事業体系

(人件費・減価償却費を除く)

県民の総合的な健康づくりのパートナーを目指して

健康づくり実践活動の支援

健康づくり実践活動の支援		8,849 千円
健康ひょうご21県民運動の推進	7,932 千円	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な推進 5,255 千円 食の健康運動 1,688 千円 からだの健康づくり 639 千円 たばこ対策 76 千円 歯及び口腔の健康づくり 274 千円 こころの健康づくり 1 千円
実践支援及び情報発信	917 千円	<ul style="list-style-type: none"> 講師派遣による実践支援 114 千円 健康づくりチャレンジ企業への情報発信 1 千円 親と子の健康づくりの普及推進 418 千円 認知症に関する情報発信 385 千円

疾病予防等の普及啓発

疾病予防等の普及啓発		19,015 千円
普及啓発活動の推進	16,486 千円	<ul style="list-style-type: none"> 広報の実施 2,179 千円 がん予防の啓発 12,177 千円 結核予防の啓発 1,080 千円 疾病予防等に関する功労者の表彰 33 千円 臓器移植の普及推進 974 千円 献血の促進 43 千円
専門的研究の奨励	2,529 千円	<ul style="list-style-type: none"> がん・腎疾患の専門的研究の奨励 2,529 千円 結核対策・研究の奨励 1 千円

健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進		1,091,364 千円
健診・検査の実施	1,065,094 千円	<ul style="list-style-type: none"> 出張健診 964,771 千円 一般健診 964,771 千円 先天性代謝異常検査 97,022 千円 精度向上・危機管理への取り組み 3,301 千円 計画的な車両・設備の整備 1 千円
保健指導の実施	3,566 千円	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導 3,566 千円 一般保健指導 3,566 千円
健康増進施設の利用	19,079 千円	五色県民健康村健康道場の運営 19,079 千円
調査研究事業の推進	3,625 千円	<ul style="list-style-type: none"> 疾病罹患状況等の分析 382 千円 全国がん登録事業 3,243 千円

事業費計 1,119,228 千円

I 健康づくり実践活動の支援

1 健康ひょうご21 県民運動の推進

(1) 総合的な推進（県補助事業）

① 健康ひょうご21 県民運動推進会議総会等の開催

ア 総 会 令和7年5月（書面開催）

イ 合同会議 令和8年3月（書面開催）

② 健康ひょうご21 県民運動推進フォーラムの開催

開催日・場所	内 容	参加人数
6月20日(金) 神戸市産業振興センター	① 式典：健康づくり等功労者知事及び健康財団会長表彰 ② 令和7年度健康ひょうご21 県民運動について ③ 県民運動25年の取り組み ④ 講演：「ラジオ体操の健康効果 ～体と心を元気にする毎日の習慣～」 講師：NPO法人全国ラジオ体操連盟理事長、NHKテレビ・ラジオ体操指導者 鈴木 大輔 氏	254人

③ 健康ひょうご21 県民運動地域会議総会

地 域	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	7月3日(木) 西宮市民会館	研修会・講演：「認知症予防のために今すべきこと」 講師：神戸大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション領域 教授 古和 久朋 氏	90人
阪神北	7月4日(金) いたみホール	研修会：「高血圧の予防や治療と食生活改善に関する最近の話題」 講師：大阪公立大学大学院教授 由田 克士 氏	74人
東播磨	7月8日(火) ウイズ明石 704 会議室	記念講演：「認知症予防の第一歩～笑う門にはセロトニン～」 講 師：生涯学習応援隊 so-so.39 代表 北村 久美子 氏	73人
北播磨	7月14日(月) 小野市うるおい 交流館エクラ 大会議室	研修会：「ポジティブ心理学によるこころの健康」 講師：関西福祉科学大学 客員教授/大阪大学 全学教育推進 機構 招へい教員 博士(医学)・指導健康心理士・上級 疫学専門家 島井 哲志 氏	127人
中播磨	7月15日(火) 姫路市医師会館	研修会：「大切な家族、地域を災害から守ろう ～今後予想される南海トラフ地震、最近多発する自然災害に備えて、今あなたにできること～」 講師：NPO 法人 ひょうご地域サポート隊 理事長 糟谷 昌俊 氏	78人
西播磨	7月16日(水) たつの市新宮ふれあい福祉会館	研修会：「認知症予防はお口のケアから?!」 講師：神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科 教授 高橋 由希子 氏	141人
但馬	7月23日(水) 兵庫県立但馬文 教府	研修会：「認知症予防を目指して 今すべきこと」 講師：神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学 領域教授兼認知症予防推進センター長 古和 久朋 氏	83人

丹波	6月12日(木) 丹波の森公苑多 目的ルーム	研修会：「ストレスを抱えた方に私たちができること －寄り添うための対応について－」 講師：臨床心理士・公認心理師 山本 沙耶香 氏	64人
淡路	7月10日(木) 洲本総合庁舎 3 階会議室 A・B	フォーラム：「睡眠・食事・運動で変える 24時間のリズム習 慣」 講師：神戸常磐大学 教授 塩谷 英之 氏	90人
計		9地域	820人

※各々、令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画を報告

④ 健康づくり推進員の設置・養成

ア 健康づくり推進員の設置・養成

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に「健康づくり推進員支援ガイド」を活用した研修等を実施し、修了者に健康づくり推進員を委嘱した。

〔委嘱人数〕 1,390人(うち、新任者数151人) R8.4.1現在

イ 健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、フォローアップ研修会等を開催した。

【全県】

開催日・場所	内 容	参加人数
10月23日(木) 神戸ポートピア ホテル	講演：「日本から長寿食を世界に贈る－賢食術のすすめ」 講師：健康ひょうご21県民運動推進会議会長 家森 幸男 氏 ランチタイム：「日本発！世界に届ける長寿フレンチ」 解説：ポートピアホテル総料理長 岸本 貴彦 氏	77人
2月10日(火) 兵庫県医師会 館	「がん・生活習慣病講演会」 講演Ⅰ：「骨粗鬆症とフレイル予防」 講師：兵庫医科大学病院 整形外科 助教 大西 政彰 氏 講演Ⅱ：「よく知ろう がん検診のいいこと、悪いこと」 講師：国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部 中山 富雄 氏	225人
計	2回	302人

【地域】

区分	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	11月6日(木) 尼崎商工会議所	講演：「食の安全～健康食品・食品添加物の正しい理解～」 講師：武庫川女子大学 名誉教授 合同会社 MOTTO 食品衛生社長 薬学博士・薬剤師 松浦 壽喜(まつうら としき) 氏	55人
阪神北	12月10日(水) 宝塚市立西公民館 セミナー室	講演：「災害時のこころとからだを守る備え」 講師：日本防災士会 横山 恭子 氏	38人

東播磨	11月20日(木) 加古川総合庁舎 5階会議室	講演：「認知症予防について軽度認知障害(MCI) 講師：東加古川病院 院長 森 隆志 氏	64人
北播磨	12月5日(金) 加西市健康福祉会館2階研修室	講演：「自分の最期の迎え方について考えよう ～アドバンス・ケア・プランニングの実践に向けて～」 講師：姫路大学 看護学部 教授 中木 里実 氏	87人
中播磨	11月10日(月) 市川町文化センター	研修：音楽への誘い～音楽が心と体に与えること～ 講師：声楽家 川上 英史子 氏 ピアノ伴奏 松崎 史枝 氏	66人
西播磨	11月17日(月) 龍野経済交流センター	講演：「笑って動いて健康長寿」 講師：健康落語 落語家 桂 九雀 氏 フィットネストレーナー 浅田 千鶴 氏	86人
但馬	11月17日(月) 兵庫県立但馬長寿の郷	講演：「健康と防災 ～災害時でも普段通りの食事をするために～」 講師：食べるのいろは 管理栄養士 濱田 真里 氏	48人
丹波	11月6日(木) 柏原福利厚生センター会議室1	講演：「歯科と健康寿命～口腔機能の低下や歯周病について～」 講師：丹波篠山市歯科医師会所属もりぐち歯科クリニック 院長 森口 和彦 氏	21人
淡路	11月6日(木) 洲本総合庁舎3階会議室A・B	講演：「心と体を癒す笑いの力 ～笑いヨガで健康寿命を延ばそう～」 講師：中瀬医院(徳島市) 院長 中瀬 勝則 氏 実技：あわらフタークラブ笑いヨガ認定ティーチャー 講師：岩野 沙織 氏	62人
合計 9会場			527人

※各々、健康体操を実施。

ウ 健康づくり推進員による実践活動

健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習など、食の健康運動の推進活動を行った。

内容	取組件数	延参加人数
健康づくりの普及・実践活動	24,095件	289,614人
食の健康運動	2,168件	58,596人

⑤ 参画団体の活動支援

健康マイプラン実践講座

健康づくりの講演会や研修会等に登録講師を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

派遣回数	参加人数
62回	3,540人

(2) 食の健康運動の推進

① 食の健康運動リーダーの設置

健康づくり推進員の中から「食の健康運動リーダー」を委嘱し、食の健康運動を推進した。

② 食育コンサートの開催

幼稚園・保育所等の幼児や保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り等を通じて、規則正しくバランスのとれた食生活の大切さ、野菜や大豆摂取の重要性などを啓発するとともに、歯みがき指導による歯及び口腔の健康づくりの普及・啓発を実施した。

地域	開催日	実施団体	参加人数(人)		
			園児等	保護者等	合計
本部	10月29日(水)	神戸市立神戸幼稚園	80	40	120
阪神南	10月22日(水)	西宮市立鳴尾東幼稚園	88	36	124
阪神北	11月20日(木)	三田市立認定こども園みつば幼稚園	47	57	104
東播磨	9月3日(水)	加古川市立加古川幼稚園	84	64	148
北播磨	9月8日(月)	西脇こども園	100	100	200
中播磨	10月3日(金)	姫路ひまわり保育園	90	17	107
中播磨	10月24日(金)	田原幼稚園	167	164	331
西播磨	10月16日(木)	二葉にじいろこども園	59	15	74
但馬	9月4日(木)	豊岡市立竹野認定こども園	87	45	132
丹波	9月5日(金)	ミライズそら	165	49	214
丹波	3月24日(火)	山南子育て学習センター	110	36	146
淡路	1月20日(火)	聖隷こども園夢舞台	86	27	113
計		12回	1,163	650	1,813

(3) からだの健康づくり(県補助事業)

メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防及び運動の習慣化を促進するため、今より10分多く毎日からだを動かす+10分(プラス・テン)、「脱”座りすぎ生活”」の啓発等を図った。

学習会開催回数	参加人数
18回	1,692人

(4) たばこ対策

妊産婦への喫煙防止並びにこども等への受動喫煙防止の啓発、喫煙の影響が大きいCOPD(慢性閉塞性肺疾患)やたばこの発がん性に関する正しい知識の普及を図った。

研修会開催回数	参加人数
10回	585人

(5) 歯及び口腔の健康づくり(県委託事業)

各種講演会や啓発資材の配付等を通じて、乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のう蝕予防や歯周病予防、歯の喪失防止に向けた8020運動を推進した。

研修会開催回数	参加人数
8回	608人

(6) こころの健康づくり

こころの不調の予防、認知症予防、笑いの健康効果、適切な睡眠促進等のための講座等を実施するとともに、健康ひょうご21ポータルサイトにおいて認知症予防に関する情報を掲載した。

分野	実施回数	参加人数
メンタルヘルス等	14回	1,035人
認知症予防関連	12回	701人

2 実践支援及び情報発信

(1) 講師派遣による実践支援

市町等が実施する講演会やセミナーに、健康運動指導士、管理栄養士等の専門スタッフを派遣し、健康づくり活動を支援した。

派遣回数	指導延人数
8回	609人

(2) 認知症に関する情報発信(県委託事業)

「認知症への正しい理解と備え」についてのリーフレットを作成し、市町、商工会、事業所等を中心に配布し、認知症に関する情報発信を行った。

配布先	配付部数
33か所	20,295部

(3) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信

兵庫県と締結した「健康づくり応援協定」に基づき、積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組む「健康づくりチャレンジ企業」に対し、メールマガジンの定期発行(10回)や財団ホームページでの健康情報の提供を行った。

(4) 親と子の健康づくりの普及推進(母子衛生研究会委託事業)

妊娠、出産、育児等に関する知識と実践の普及を図るため、初産予定の夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

[開催回数・参加人数] 4回 1,228人(614組)
[場所] なるお文化ホール

II 疾病予防等の普及啓発

1 普及啓発活動の推進

(1) 広報の実施

健康づくりや疾病予防のための知識の向上、人間ドック等健康診断の受診促進を図るため、財団広報誌やホームページ等を活用した広報を行った。

また、県内の団体が発行する会報や機関誌等に、保健・医療情報及び日常生活における健康的な食生活に関する情報を寄稿し、疾病予防や健康づくりの普及・啓発を行った。

① 広報誌「プレベ」の発行

〔発行〕 年2回（9月、3月 各9,000部）

〔配布先〕 行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

② 団体の会報、広報紙等への情報提供

兵庫県建設国保健康保険組合広報紙に「けんこう cooking」を2回掲載

③ ホームページによる情報発信

スマートフォンにも対応したホームページにより、人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

(2) がん予防の啓発

① 2025年度がん征圧全国大会(兵庫大会)の開催（日本対がん協会との共催）

開催日・場所	内 容	参加人数
9月18日(木) 神戸ポート ピアホテル	【前日行事】 ① 支部長会議 ② シンポジウム 「がん検診の新たな地平 組織型検診への移行の課題」 ③ 歓迎レセプション	193人
9月19日(金) 神戸ポート ピアホテル・ ポートピア ホール	【全国大会】 ① 表彰式 ア 日本対がん協会賞 イ 朝日がん大賞 ウ がん征圧スローガン最優秀賞 エ 永年勤続表彰 ② 記念講演 ア 演題：ステージⅣの舌がんを乗り越えて生きる ～キャンサーギフト・大切な家族～ イ 講師：堀ちえみ 氏 ③ 兵庫県アピール 講師：兵庫県企画部万博推進局長 三宅 隆之 氏 ④ 次期開催県アピール	542人

② がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間(9月)の期間中、懸垂幕やJR三ノ宮駅構内においてデジタルサイネージ広告によるがん征圧月間ポスターの掲示、啓発資材の配布等により、広く県民に意識啓発を行った。

③ 「がん・生活習慣病講演会」の開催(兵庫県医師会と共催)

開催日・場所	内 容	参加人数
2月10日(火) 兵庫県医師会館	講演Ⅰ:「骨粗鬆症とフレイル予防」 講師:大西 政彰 氏(兵庫医科大学病院整形外科助教) 講演Ⅱ:「よく知ろう がん検診のいいこと、悪いこと」 講師:中山 富雄 氏(国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部)	225人

④ がん征圧寄附金募集活動等による啓発

がん予防のための普及・啓発活動や同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開するとともに、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募った。

件 数	金 額
244件	1,387,206円

⑤ がん検診啓発及びがん患者支援

ア 「ピンクリボンフェスティバル」に参画し、チラシやポスター等の配布により、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さについて意識啓発を行った。

実施日	会 場	内 容
10月1日(水)	三宮センター街(生田筋~京町筋間)	ピンクリボンチラシ等の配布
10月8日(水)	高室池ゴルフ倶楽部	パネル展示等
10月23日(木)	神戸ポートピアホテル	ピンクリボン啓発活動

イ がん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に協賛し、その活動を支援した。

実施日	会 場	内 容
6月14日(土)~15日(日)	神戸市みなとのもり公園	サバイバーウォーク
9月6日(土)~7日(日)	芦屋市川西運動場	がん予防普及啓発

(3) 結核予防の啓発

① 結核・呼吸器感染症予防週間行事の実施

結核・呼吸器感染症予防週間(9月24日~30日)の期間中、結核と呼吸器感染症について広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等(計約16,300部)を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布した。

イ 懸垂幕の掲示等

健康財団荒田事務所に懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。

また、阪急神戸三宮駅のデジタルサイネージ広告に加え、財団ホームページ、健康ひょうご21県民運動ポータルサイトを活用した啓発を行った。

ウ 結核・呼吸器感染症予防セミナーの開催

開催日・場所	内 容	参加人数
11月29日(土) HDC 神戸 5階 HDC スタジオ	講演：「肺結核 診療放射線技師の関わりと結核病棟について」 講師：神戸市立西神戸医療センター放射線技術部 中村 大 氏 講演：「結核・呼吸器感染症の現状と課題」 講師：(公財)結核予防会理事長 尾身 茂氏	89人

② 結核征圧寄附金募集活動等による啓発

結核予防のための普及・啓発活動や結核セミナー等を開催するための寄附金を募るとともに、同活動を通じて結核等に理解を深める啓発活動を展開した。

件 数	金 額
148件	764,590円

(参考：上記以外に(公財)結核予防会への複十字シール運動募金 156件 828,588円)

(4) 疾病予防等に関する功労者の表彰

多年にわたり、公衆衛生の向上に資する事業の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体を表彰した。

① がん予防功労者

氏 名	職 種	推薦団体
石井 洋光	医 師	明石市医師会
奥山 誠	医 師	姫路市医師会
中院 達也	医 師	神戸市中央区医師会
川村 道広	臨床検査技師	兵庫県臨床検査技師会

② 結核予防功労者

氏 名	職 種	推薦団体
野上 壽二	医 師	丹波市医師会
長谷川 幹	医 師	神戸市長田区医師会

③ 健康づくり功労者

氏 名	職 種	推薦団体
八田 昌樹	医 師	尼崎市医師会
飯尾 純	医 師	神戸市灘区医師会
竹内 英資	歯科医師	兵庫県歯科医師会
加納 利文	歯科医師	姫路市歯科医師会
原田 さとみ	歯科衛生士	兵庫県歯科衛生士会

④ 母子保健功労者・功労団体

氏名	職種	推薦団体
奥窪 明子	医師	西宮市医師会
大門 美智子	医師	兵庫県宝塚健康福祉事務所
一般財団法人 神戸市小児救急医療事業団		神戸市

(5) 臓器移植の推進

① 臓器提供意思表示の普及(県補助事業)

臓器移植の普及を図るため、啓発資材等を作成し、県民に臓器提供についての意思表示の大切さを呼びかけた。

② 「いのちの勉強会」DVDの作成及び活用(県補助事業)

臓器移植医療に関する正しい知識の普及・啓発と、臓器移植の一層の定着・推進を図るため、講演を収録・DVD化し看護系学校(2校)へ貸出した。

[テーマ]「LIVING WILL」～臓器提供を考える～

③ 臓器移植希望者への支援(県補助事業)

臓器移植希望者の経済的負担を軽減するため、希望者の組織適合検査に要した経費の一部を助成した。

[件数] 60件

[助成総額] 600千円

④ 骨髄移植及びさい帯血移植の普及推進

骨髄移植の普及を図るため、骨髄ドナー登録啓発資材をドナー登録会等で活用した。

(6) 献血の促進

① 兵庫県献血功労感謝のつどいの開催(県、日本赤十字社兵庫県支部等との共催)

開催日・場所	内容	参加人数
9月9日(火) 兵庫県医師会館	①献血功労者表彰状等の伝達及び贈呈 ②活動発表 ③アトラクション ④誓いのことば	117人

② 啓発資材の作成

献血の促進を図るため、啓発資材を作成し、献血会場等で活用した。

2 専門的研究の奨励

がん及び腎疾患の予防と診断・治療に役立つ専門的研究の進展に寄与するため、研究奨励賞を贈呈した。

① がん研究奨励賞（総額 2,000 千円）

氏名	所属	研究題目
藤川 朋子	神戸大学医学部附属病院	エピジェネティック制御薬剤と抗 SIRP α 抗体を活用した革新的神経芽腫治療開発
平川 結梨	神戸大学大学院医学研究科	急性骨髄性白血病におけるアミノアシル tRNA 合成酵素阻害剤による Venetoclax 耐性克服とその機序の検討
中松 裕太	神戸大学大学院医学研究科	網羅的遺伝子解析を用いた Ewing 肉腫の新規治療標的・マーカーの探索
酒巻 太郎	神戸大学大学院医学研究科	ハイパラメーターフローサイトメトリーを用いた超高感度解析法による造血幹細胞移植後免疫再構築の評価モデル開発

② 腎研究奨励賞（総額 500 千円）

氏名	所属	研究題目
桂 大希	神戸大学大学院医学研究科	膀胱癌に対する iPS 細胞由来 $\gamma \delta$ T 細胞を用いた新規治療の開発
猪野木 雄太	神戸大学大学院医学研究科	特発性ネフローゼ症候群における自己抗体の探索

Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

1 健診・検査の実施

(1) 施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断のほか、多様化する受診者ニーズに応じて人間ドック及び胃内視鏡体制を強化し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。

(実施団体数 2,010 団体)

健診種別		令和7年度 (件)	令和6年度 (件)	対前年度比 (%)	
集団検診	学校健診	612	518	118.1	
	住民健診	759	627	121.1	
	事業所健診	一般健康診断(就学・就職)	132	160	82.5
		定期健康診断等	13,851	15,092	91.8
	小計	15,354	16,397	93.6	
人間ドック	1泊2日人間ドック	71	66	107.6	
	半日人間ドック	4,950	4,897	101.1	
	兵庫県2時間人間ドック	291	310	93.9	
	脳ドック [再掲]	(281)	(275)	102.2	
	P E T 検診 [再掲]	(31)	(52)	59.6	
	胃内視鏡検査 [再掲]	(4,689)	(4,341)	108.0	
	乳腺超音波検査 [再掲]	(2,344)	(2,777)	84.4	
	口腔健診 [再掲]	(104)	(102)	102.0	
	レディースドック [再掲]	(393)	(356)	110.4	
	全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	8,509	8,427	101.0	
一般健診	(7,431)	(7,390)	100.6		
一般健診＋付加健診	(1,078)	(1,037)	104.0		
小計	13,821	13,700	100.9		
ストレスチェック	1,142	1,032	110.7		
合計	30,317	31,129	97.4		

注1) 脳ドック～口腔健診は、人間ドックの各コース及び一部集団検診のオプション検査につき再掲。

注2) レディースドックは、女性専用日を利用した受診者数。

(2) 出張健診

市町や地元商工会議所・商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診を積極的に推進したほか、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを健診時にあわせて実施した。

① 学校健診（実施校数 48校、2教育委員会）

健診種別	令和7年度(件)	令和6年度(件)	対前年度比(%)
結核検診	23,206	25,708	90.3
心臓検診	5,077	8,794	57.7
腎臓検診	14,253	21,906	65.1
診察・身体計測等	13,786	16,305	84.6
合計	56,322	72,713	77.5

② 住民健診（実施市町数 18市町）

健診種別	令和7年度(件)	令和6年度(件)	対前年度比(%)	
結核検診	61,921	62,976	98.3	
特定健康診査 (生活習慣病健診等を含む)	19,009	18,885	100.7	
心電図検査	(6,668)	(6,833)	97.6	
眼底検査	(5,388)	(5,583)	96.5	
貧血検査	(13,109)	(13,129)	99.8	
胃がん検診	19,149	20,359	94.1	
肺がん検診	59,329	60,193	98.6	
大腸がん検診	19,044	19,201	99.2	
子宮頸がん検診	13,361	13,544	98.6	
乳がん検診	視触診	1,060	1,193	88.9
	マンモグラフィ	8,849	8,929	99.1
前立腺がん検診	6,050	7,283	83.1	
骨粗鬆症検診	2,184	2,278	95.9	
肝炎検査	1,293	1,436	90.0	
腹部超音波検査	10,742	8,212	130.8	
合計	221,991	224,489	98.9	

③ 事業所健診（実施団体数 1,978 団体）

健診種別		令和7年度(件)	令和6年度(件)	対前年度比(%)
定期健康診断		108,164	109,520	98.8
特定健康診査		1,372	1,425	96.3
全国健康保険協会管掌 健康保険生活習慣病予防健診		25,277	24,922	101.4
ストレスチェック		42,553	44,579	95.5
特殊健康診断		20,685	20,346	101.7
がん・ 追加 検診等	胃がん検診	23,621	26,492	89.2
	肺がん検診	22,666	22,370	101.3
	大腸がん検診	62,344	62,796	99.3
	子宮頸がん検診	949	1,013	93.7
	乳がん検診(マンモグラフィ)	603	730	82.6
	腹部超音波検査	19,313	19,033	101.5
合計		327,547	333,226	98.3

(3) 一般診療

診療科目	令和7年度(件)	令和6年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	874	797	109.7%

(4) 先天性代謝異常検査

① 県委託事業

検査種別	令和7年度(件)	令和6年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	22,181	22,496	98.6
TSH(クレチン症)検査	21,868	22,235	98.3

② 兵庫小児先進医療協議会委託事業

検査種別	令和7年度(件)	令和6年度(件)	対前年度比(%)
拡大新生児マススクリーニング検査 (ライソゾーム病ほか計7疾患)	7,977	5,775	138.1

(5) 精度向上・危機管理への取り組み

① 健診精度の向上

ア 人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施と的確な判断能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。

研修会名	回数	延参加人数
職員(全体)研修会・職種別分科会	2回	525人
医師研修会	1回	34人

イ 精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度及び心電図の記録・判定技術の向上を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に専門委員会を開催し、検診実施状況報告及び画像症例検討等を行った。

開催日	内 容	参加人数
12月25日(木)	マンモグラフィ専門委員会	16人
1月21日(水)	生理機能検査(心電図)専門委員会(書面開催)	8人
2月5日(木)	胃部エックス線画像専門委員会	14人
3月5日(木)	胸部エックス線画像専門委員会	15人
合 計		53人

ウ 外部精度管理評価の維持

日本医師会等による外部精度管理調査を受審し、精度の維持・向上を図るとともに、第三者機関による施設認定(「健診施設機能評価」更新)の維持に努めた。

② 危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な健診を受けられる環境を整えるため、リスクマネジメント推進会議等において、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討した。

名 称	内 容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	①事故内容の分析 ②事故防止対策の検討・提案等	12回
リスクマネジメント実践担当者会議	①ヒヤリ・ハット事例の分析 ②事故防止対策の検討・提案等	12回

③ 情報処理体制の適正な管理と強化

健診等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

④ プライバシーマークの運用・維持

セキュリティレベルの向上を図りつつ、個人情報の漏洩防止に組織的に取り組み、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)が付与する個人情報保護に関する認定制度「プライバシーマーク」認定の維持に努めた。

(令和8年3月に11度目の認定を取得)

(6) 計画的な車両・設備の整備

耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づく医療機器等の更新整備により、健診精度の維持・向上を図った。

[主なもの]

超音波画像診断装置 1台、心電計 2台、読影用パソコン 2式、
レセプトコンピュータ 1台

2 保健指導の実施

(1) 特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要がある者に対し、生活習慣改善のための行動目標、行動計画を設定し、健康維持のためのセルフケアができるよう継続的に支援する特定保健指導を、健診当日・事業所訪問・遠隔面接で実施した。

支援別実施実人数

	令和7年度	令和6年度	対前年度比
動機付け支援	385人	583人	66.0%
積極的支援	519人	657人	79.0%
合計	904人	1,240人	72.9%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

(2) 一般保健指導

人間ドックの受診者に対し、健診当日に医師の指示に基づき生活習慣改善の必要性などについて保健指導を実施するとともに、生活習慣病重症化ハイリスク者や精密検査対象者の速やかな受療行動に繋げるため、受診勧奨等きめ細かなアドバイスをを行い、更に健康相談を希望する者には個別健康相談を実施した。

また、財団ホームページからも保健指導の予約を受け付け、健診結果の見方の説明や健診結果改善のための運動や食生活などの実践的な指導を個別面接や遠隔面接で行った。

	令和7年度	令和6年度	対前年度比
実施実人数	2,594人	1,701人	152.5%

3 健康増進施設の運営（令和7年度末で事業終了）

(1) 五色県民健康村健康道場の運営

絶食・低カロリー食療法、性格分析、丹田呼吸法、カウンセリング等を通じて、生活習慣病の予防・改善を図り、県民のこころと身体健康づくりを支援した。

また、ホームページの活用やメール、インスタグラム及びフェイスブック等による広報を行ったほか、心身医学の講座や年末・年始営業の実施により、利用者の確保に努めた。

① 絶食・低カロリー食療法コース(入所)

3泊4日から、7日間、11日間、16日間、20日間コースなど、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや健康状態に合わせたサービスを提供した。

	令和7年度	令和6年度	対前年度比
利用者数	417人	504人	82.7%
延宿泊者数	2,348人	2,797人	83.9%
平均宿泊日数	5.6日	5.5日	101.9%

② 利用促進施策の実施

ア 健康医学としての心身医学の講義

インターネットや道場内で講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

イ 年末・年始営業

〔期間〕 令和7年12月29日～令和8年1月3日

4 調査研究事業の推進

(1) 疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を『事業年報』により発信した。

〔発行部数〕 200部

〔配布先〕 行政機関、医療関係団体等

(2) 全国がん登録事業(県委託事業)

① がん罹患情報等の審査・整理・登録

県内医療機関等から届出されたがん罹患情報等の審査・整理・登録を行い、兵庫県のがん対策の企画立案及び評価の基礎資料として活用を図った。

〔届出(登録)件数〕 69,728件

〔届出医療機関数〕 198機関

〔遡り調査登録件数〕 1,626件

〔住所異動確認調査登録件数〕 2,514件

② 全国がん登録実務者研修会の開催

県内の病院及び指定診療所において全国がん登録業務に従事する者を対象として全国がん登録業務の円滑な推進を目的に「全国がん登録実務者研修会」をオンラインにより開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
10月1日(水) ～12月26日(金) オンライン配信	「令和7年度 全国がん登録実務者研修会」 講演：「全国がん登録の届出実務～登録時のポイントと演習」 講師：国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター長 松田 智大 氏	視聴回数 331回

③ がん罹患報告書の作成

全国がん登録の報告書「兵庫県のがん 2021」を作成し、がん罹患及び死亡の状況等について発信した。

〔発行部数〕 600部(令和8年3月発行)

IV 運営体制の充実を図るための取組

1 財団のガバナンス確保に関する取組

(1) 評議員会・理事会の適正な運営

関係機関・団体と協議の上、評議員会・理事会構成員の改選等を行いながら、適時適切に会議を開催するなど、両組織の運営規則に基づく適切な運営に努めた。

(2) 経営計画に基づく事業展開と経営改善の推進

「第4次経営計画」に基づき、財団を取り巻く環境の変化等を踏まえた事業展開と経営改善を推進するとともに、毎月開催する経営会議により、運営状況に関する情報共有と改善策の協議を行った。

(3) 外部の専門家による会計指導等の実施

顧問契約を締結した公認会計士による税務指導や県出納局審査・指導課による会計指導・助言を得た。

2 不祥事・事故等の予防、発見、事後対応に関する取組

(1) コンプライアンスの確保

「職員倫理規程」や「個人情報保護方針」等を踏まえ、倫理行動規準やハラスメントの禁止、さらには情報セキュリティに関する遵守事項等について、内部研修等の場を通じて周知徹底を図った。

(2) 不正防止への取組

「公益通報制度実施要綱」に基づき、不正行為に関する通報及び相談を適切に処理するための仕組みを整備している。

(3) リスクマネジメントへの取組

「リスクマネジメント実施要領」に基づき、リスクマネジメント推進会議、実践担当者会議を毎月開催し、事故防止対策の検討・提案を行った。

3 円滑な財団運営・人材育成に関する取組

(1) 業務の円滑な推進に資する組織体制の構築

業務の効率化や負担軽減を図るため、部門長へのヒアリングなどにより、業務実態に即した組織体制を構築するとともに、適材適所の人員配置の実施に努めた。

(2) 役員、幹部職員による会議の実施

役員、幹部職員の意思疎通を図り、財団運営に関する重要事項の協議等を行う幹部会を毎月開催するとともに、少人数の役員、幹部職員により財団運営上の重要な課題についての対応方針を協議するため、戦略企画会議を新たに設置した。

(3) 職員の資質向上に向けた取組

職員研修（7月、1月）や医師研修（3月）等の内部研修を時宜に応じた内容で実施するとともに、労務管理・会計事務等に関する研修会への事務職員の派遣や医療技術スタッフの資質向上のためのセミナー等への参加促進を図った。